

【2005年度卒論中間発表会（地域社会サブコース）】

卒業論文のテーマ発表会を下記の要領で行います。1、2年生の方、他分野他コースの3、4年生、教官の方も歓迎いたします。ふるって御参加ください。なお、会の終了後にコンパを開きます（別掲）。出欠について関係する学生は、社会調査室のボックスに出欠票を入れてください。

記

日時：2005年11月16日（水）12：50－17：45

場所：1号館北棟3F第1会議室

内容：卒論執筆者が1人につき10分発表し、10分程度の質疑・討論を行う。

＜プログラム＞

12：50－12：55 開会のあいさつ 榎田教員

12：55－13：15 佐々木実花「自己コントロールの成功としての嗜癖——理論的考察及び若干の経験的例証」

13：15－13：35 正島祐子「あるSHGにおける組織の多面性」

13：35－13：55 大林陽一「ボランティアに関する一考察——公私論の視点から」

13：55－14：15 大門翔「つながりとフェアトレードへのコミットメントの仕方」

14：15－14：30 <休憩>

14：30－14：50 石川弘樹「市町村合併により目指すもの——四国中央市を事例に」

14：50－15：10 真茅江里「地域をつなぐメディア——宝塚てくてくを事例として」

15：10－15：30 福井佳代「アレゴリー de フジハラビル」

15：30－15：50 竹岡勝行「町並み保存型まちづくりの未来——内子を事例として」

15：50－16：10 <休憩>

16：10－16：30 田中理恵「商店街活性化に向けての合意形成戦略」

16：30－16：50 花岡恵祐「グローバリズムと製造業——徳島県のアパレル産業を事例に」

16：50－17：10 田中文恵「就職支援室における相互行為分析」

17：10－17：30 林佑香「老人ホーム内における相互行為」

17：30－17：45 講評と閉会のあいさつ

* 発表者は、A4で3～6枚程度のレジュメを30部用意すること。また、印刷はコピーではなくリソグラフを使うこと。